

東山の森だより

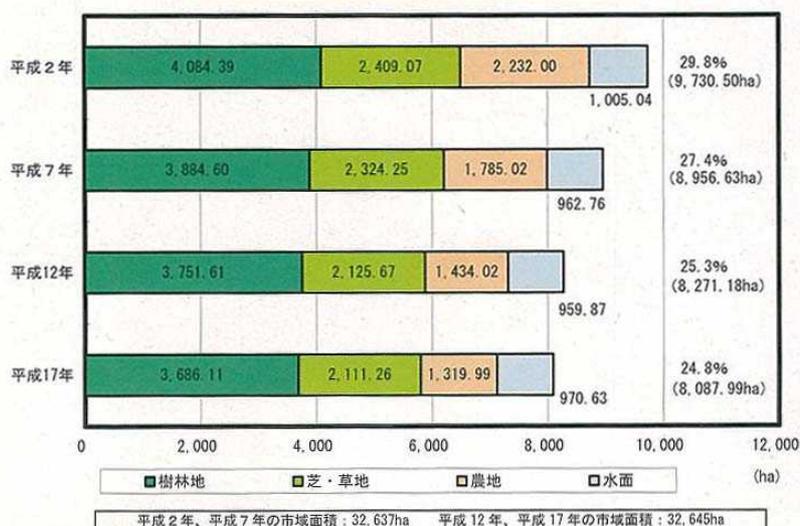
【第8号】

発行：なごや東山の
森づくりの会
発行者：滝川 正子
編集：中西 たかお
発行月：2007年12月
(年2回発行)

§ § 名古屋の緑の減少と東山の森づくり § §

なごや東山の森づくりの会 副代表
眞弓 浩二

平成17年度の名古屋市緑の現況調査報告書が公表された。この調査は平成2年から5年ごとに行われているもので、航空写真をもとに10㎡以上の緑被地を地図化している。これによると平成2年に29.8%あった名古屋の緑は、平成17年には24.8%と減少しており、なごや東山の森が位置する東部地域においては38.2%から31.1%と実に7.1ポイントの減少をみている。同様の傾向を見せる西部地域が農地の減少による緑被率の低下であるのに対して、東部地域は丘陵部の樹林地が主な減少の対象となっている。さらに、都市のヒートアイランド抑止に働き、人間や多くの生き物に潤いと安らぎを与えてくれる「まとまりのある樹林地」の減少が目立つ。特に1000㎡～3000㎡未満の樹林地で傾向が顕著で、この15年間に箇所数で1986箇所、面積で357.59haが減少、10000㎡以上の樹林地でも168箇所865.95haが減少している。これらを名古屋市全体でみると1642.51haの緑が消失したことになり、これは中村区の面積に匹敵する規模である。バブル経済の崩壊後これらの傾向もやや鈍化したかに見えるが、景気の回復基調を背景に、今後また減少スピードが加速するのではないかと懸念される。



緑被率の推移 H2年からH17年



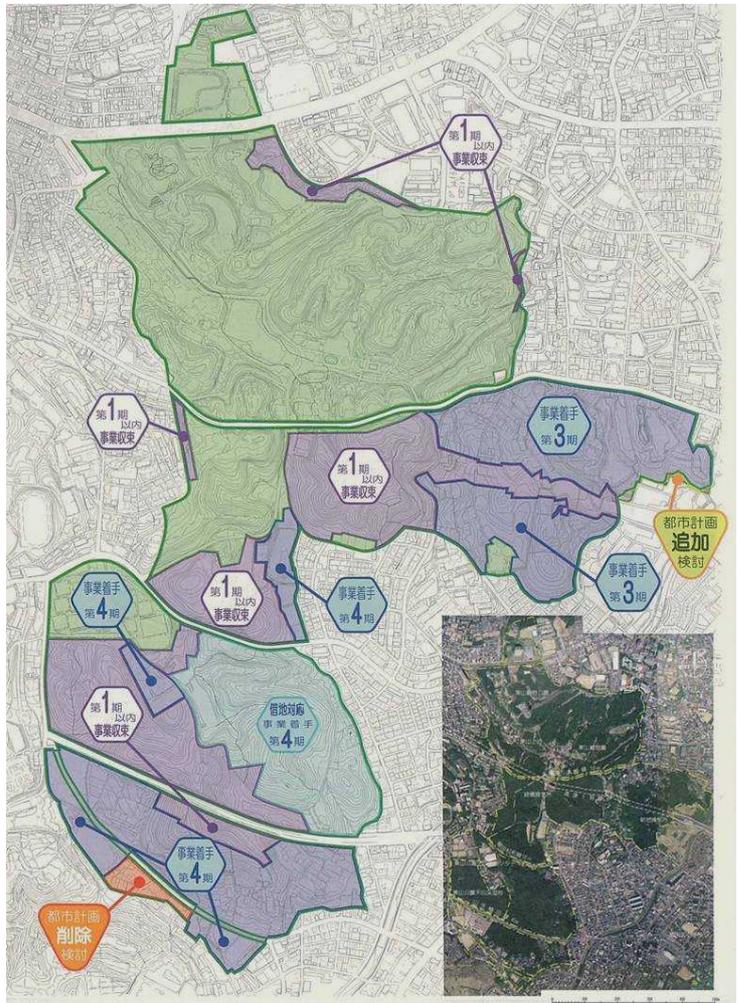
左：平和公園南部の「くらしの森エリア」から見える高層マンション。右：東山公園南部隣接地の住宅地開発。ともに大規模緑地に隣接した民有地での開発だが、これからの都市の緑のあり方を私たちに問いかけているようだ。

協働： なごや東山の森づくりの会 名古屋市 (財)名古屋市みどりの協会

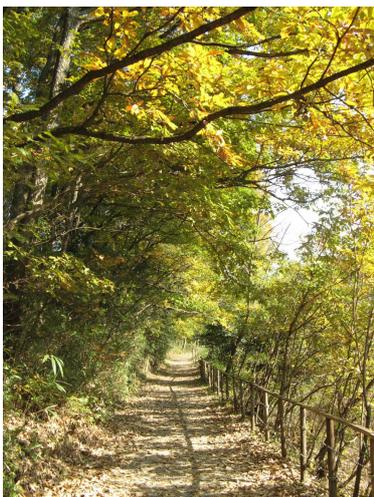
一方、本年9月、名古屋市は長期未整備公園緑地について、都市計画の見直しと整備プログラムについて市民意見を求めた。市域のほとんどが市街化している名古屋市では、まとまった緑（樹林地）の多くが長期未整備公園緑地、つまり「長い間買収されていない公園区域」となっている。平成8年に110億円以上あった公園整備予算も、平成18年では40億円弱と約3分の1に圧縮されている財政配分のもと、今後積極的な買収が行われる見込みは薄い。そこで20箇所の公園緑地について区域の見直しを行い36.99haの削除と6.72haの追加をするものである。また、各公園緑地を細分割し、区域ごとに事業に着手する時期を段階的に定めた整備プログラムを提示している。今後10年以内に事業着手又は収束する第1期区域から今後31年以降に事業着手する第4期に区分されている。40年後には計画公園緑地が全て整備完了し、現在一人当たりの公園面積が9.3㎡であるものが、16㎡になるということらしいが、はたして今後30年間、緑のままで買収される日を迎えることができるのであろうか。極めて心配である。

「自然は都会に住む人間にとって必要ない」「車で30分も走れば自然なんていっぱいあるじゃないか」そんな声を聞くことも決して珍しい話ではない。でも、本当にそうだろうか。私たち人間は自然とともにあってこそ健康で豊かな生活を営める生き物ではないだろうか。相次ぐ凄惨な事件や、モラルの低下や際限なく成果を求めるストレス社会が背景となる様々な事件。これらの原因が自然との接点を失ったことによるものとは言い切れないが、少なくとも森の中で生き物との出会いに素直に感動し、また友と楽しく汗をかき、語らうことでストレスから解放され、リフレッシュすることは誰にも経験のあることだろう。自然の価値は数値や形にはできない曖昧なものであるが、確実な価値をもつものである。生き物としての人間にとって、内なる肉体の器官とともに、欠くことのできない外的器官としての自然があってこそ、心身の健全性が保たれている。

2010年、名古屋市で開催が計画されているCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）。「地球温暖化」とともに大きな問題とされる「生物の多様性保全」がテーマとなる。なごや東山の森には、名古屋の先人たちが慣れ親しんだ生き物たちが今も息づいている。私たちには、これら多様性ある地域固有の自然環境を保全し、名古屋の生物多様性を高めていくことが求められている。この自然は過去から受け継いだものであるとともに、未来の子どもたちから預かっている財産でもあるのだから。*



東山公園南部地区の整備プログラム検討区域図(案)：南端部の太白町八事地区では、計画区域の縁辺部にあり、道路等によって区切られた街区で宅地化が進行している地区が削除区域とされている。また、図中央部及び南部の太白町八事地区に見られる第4期事業着手区域は、今後30年間事業着手（買収）されないことが決定する。



定例会

7月1日(日) 9:00～12:00 天候：晴れ

場所：東山公園南部・名東区藤巻町地内
名古屋高速道トンネル上・調整池周辺

参加者：36名(内、子ども4名)

内容：高速道路トンネル工事等により更地にされた部分で、森の再生のために植樹された苗木の成長の妨げになっている雑草の刈り取りが主な作業でした。某企業の若手社員の参加があって作業が捗りました。上空ではオオタカが舞っていました。



8月5日(日) 9:00～12:00 天候：晴れ

場所：平和公園南部・くらしの森中道沿いの竹やぶ

参加者：39名(内、子ども1名)

内容：初めての参加が多く、くらしの森の散策から始まりました。作業は中道沿いの竹藪の整備。活動の途中、リコー中部さんの「エコひいき」助成認定式があり、滝川代表に助成金の目録が授与されました。



9月2日(日) 9:00～12:15 天候：曇り

場所：東山公園南部・名東区藤巻町地内
名古屋高速道トンネル上・調整池周辺

参加者：26名(内、子ども2名)

＊子ども森づくり隊隊員 田畑萌さんを表彰。
定例活動への6回参加を達成で記念品を授与。

内容：前回(7/1)と同じトンネル上での雑草の刈り取り。僅か2ヶ月の間に、元気な雑草にすっかり覆われていました。



10月7日(日) 10:00～14:30 天候：曇り

場所：平和公園南部・ハンノキ湿地南斜面
参加者：57名(内、子ども12名)

＊子ども森づくり隊隊員 東野有剛君を表彰。
定例活動への6回参加を達成で記念品を授与。

内容：企業2社から25名(子ども8名)の参加が有って、賑やかな雰囲気の中、倒木の整理と散策道の整備をしました。



11月4日(日) 10:00～14:30 天候：晴れ

場所：東山公園南部・一粒荘跡地周辺
参加者：32名(内、子ども4名)

＊子ども森づくり隊隊員 東野立明君を表彰。
今回は加藤会員自作の絵葉書が副賞として贈られました。

内容：活動予定の現場を全員で散策しながら作業内容を確認した上で、参加者がそれぞれの判断で持ち場を決めて作業開始。雑木林に侵入した竹の除伐と雑草の刈り取りをしました。



12月2日(日) 10:00～14:30 天候：晴れ

場所：平和公園南部・ハンノキ湿地南斜面
参加者：会員とその家族26名(内、子ども3名)
企業2社関係 46名 計72名

内容：ハンノキ湿地南奥の斜面での倒木の整理と下草刈り。アカマツの大木など倒れていたり、立ち枯れているものを整理する力仕事でしたが、企業の若手社員のみなさんの働きで作業が捗り、森が若返ったように見えました。



班活動紹介

☆平和公園里山班

毎月 第2、第4日曜日 活動エリア：平和公園南部
ヒマワリに代って来年の春に花を咲かせる「菜の花」の種播き。びっしりと芽を出した新芽の間引き作業。田んぼでの稲刈りとハザ掛け。以前雑木林再生のために植樹が行われた返還耕作地での下草刈りなどの作業が行われています。また名古屋市みどりの協会の計らいでリヤカーが購入され、活躍しています。



☆東山南部里山班

毎月 第4土曜日 活動エリア：東山公園南部
主な活動場所は、苗場（名古屋高速換気塔の南西側）と東山テニスセンター南部の天白溪ですが、このところ苗場での活動が続いており、倒木の整理、希少植物の保護、散策路の整備などが行われています。人手不足で作業が捗っていません。毎回でなくても結構ですので班活動に参加できる方を募集中です。



☆ハンノキくらぶ

毎月 第4月曜日 活動エリア：平和公園南部の竹林
女性が主になって活動しているクラブですが、男性の参加大歓迎。くらしの森・第2木道南側のスズコナリヒラの竹林の整備をしています。心配なのは、くらしの森での里山再生計画が進む中で現在の竹林がどのように扱われるのか、です。



子ども東山の森づくり隊

＝なごや環境大学「共育講座」として実施＝

■ 8月4日(土) 18:00～20:30 天候：曇り 
場 所：平和公園南部 「冒険ナイトハイキング」
参加者：隊員 37名（夜ということもあって保護者同伴）
開始直前には雷が鳴り出し夕立があって心配されたが15分程遅れてスタート。ハイキング中は雷が鳴っていたものの雨は降らず、無事プログラムを終了。灯火採集では、ニイニイゼミやツノトンボなどを観察し、倉庫近くではセミの羽化も観察できた。今年は開花が遅くて心配していたカラスウリの花も一斉に咲いていて、みなが感動。（は）



■ 11月10日(土) 10:00～14:00 天候：曇時々晴れ 
場 所：平和公園南部 「めざせ！ドングリ博士」
参加者：隊員 33名
雲間に青空が見える、暖かな秋の日。午前中は、マテバシイ、アラカシ、コナラ、アベマキのドングリを拾いながらハイキング。「このドングリは何か？」と、みうら折りの資料と見比べながら考える隊員たち。目的地に到着した班から、ゾウムシの話をして、用意された豚汁に舌鼓。午後からはポットにドングリを植え、ドングリごまを作る子、ドングリ畑に直播きをする子に分かれて作業。たっぷりとドングリに親しんだ一日でした。（は）



名古屋のため池調査・東山新池のかいぼり

なごや環境大学 なごやを動かそまい！事業

10月21日(日) 9:30~15:30 天候：晴れ

なごや環境大学の講座受講者は、12:00まで

場所：新池（東山通・平和公園口東側）

生物（人間も含めて）が棲息するには豊かな水のある環境が欠かせません。名古屋市が誘致に名乗りを挙げたCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）へ向けて、生物多様性を育む「ため池」を見直そうということで、かいぼり（池干し）が行われました。メダカ、イシガメなど在来生物多数確認。

協働：名古屋市 名古屋ため池調査実行委員会



その他の動き

★第1回 愛知雑木林会議 主催：愛知雑木林連絡会

1日目：10月6日（土）9：30～17：00

場所：犬山市国際観光センター フロイデ 会議室

内容：セッション（全体会議）

2日目：10月7日（日）10：00～17：00

場所：日進市「北高上緑地」と「にぎわい交流館」

内容：エクスカージョン（フィールド訪問と保全活動）

▶ 私たちが森づくり活動の現場で抱える課題を持ち寄り、情報を共有し、寄って立つ基盤としての「愛知方式」の確立を目指して活発な討論が行われました。



★助成金を頂きました。

○リコー中部株式会社より 地域環境活動助成「エコひいき」事業として、助成金を頂き、更に社員の方々の森づくり活動への参加という形で労力の提供を受けることになりました。

○めいきん生協（名古屋勤労市民生活協同組合）より 毎年6月に行われている「環境キャンペーン1%募金」活動でのリサイクルペーパーなど環境にやさしい商品の利用代金の1%を募金として集められ、寄付して頂いたものです。



＊「命」のドラマ

田畑 恭子

今年の夏休みは家族で信州を旅行しました。キャンプ場で過ごした夜、アブラゼミの幼虫を発見。これまでも何度となくゼミの羽化の場面には遭遇しているけれど、何回見てもやっぱりまたそばを離れられなくなるこの魅力はなんだろうと思いつつ、家族そろって様子を見てみると、そばを通りかかった5歳くらいの男の子も一緒に並んで見上げました。「さわったらダメなんだよ。」と私たちに言い、息をひそめるように見つけていました。ほどなくしてその子どもの母親らしき人が通りかかり、彼女の口から出た言葉は「朝にはゼミになつとるわ。早くおいで、もう寝なさい。」でした。その子は何度か抵抗していましたが、しぶしぶ帰って行きました。

今、命のドラマが始まるころだったのに。「明日にはゼミになつている」、言葉にしてしまえば簡単なことだけれど、その命の営みの一部始終を目の当たりにした子どもの心に刻まれるものは、大切な宝物となつたかもしれません。神秘への感動、生きものが生まれ、生きて、やがて死んでいくことを当たり前とやってしまわず、じっくり目を向け、耳を傾けることで、この感動を味わうことができるのです。命のドラマは信州まで出かけて行かなくても、私たちの身近にある東山の森で、日々繰り返られています。東山の森は心の宝物に出会える場所です。この森がいつまでも守られていくことを切に願います。



森の表情



冬の観察会に参加し、丸みをおびた五角形の緑の葉の中に赤い実をつけた「フユイチゴ」と出会いました。食べられると聞き、摘んで食べているうちに、私は「12のつきのおくりもの」(スロバキアの昔話)を思い出しました。それは身も凍る寒い冬に、美しい娘が継母に命じられ、いちごを摘みに行く場面です。最後には娘が幸せになるのですが、途中を忘れてしまっていたので家に帰って



から、本をもう一度読みなおしました。「東山の森」のおかげで、子どもに戻ってお話を楽しむことができました。この時以来、森を舞台にしたお話の場面を、思い出しながら森を歩くのがとても楽しくなりました。たとえば、あかずきんがおばあちゃんの所へ行くまでの道は、中道のヒナギクが咲くころの道とか色々想像しています。子どもたちが「東山の森」を歩いて、お話の世界を心豊かに楽しんでくれたらいいなと思います。(本：おはなしのろうそく2 トウキョウ子ども図書館編)

運営委員会

開催日時：毎月第3木曜日 18:30~20:55 場所：千種スポーツセンター第一会議室

会議参加者：役員、運営委員、名古屋市、(財)名古屋市みどりの協会、その他議題関係者など。

議題：森づくり定例会、班活動、主催事業などの企画と結果報告。各種協賛事業、受託事業の実施計画と結果報告。各種団体のフィールド訪問などの受け入れの検討。里山の家管理運営に係わる事案の協議。その他事案発生ごとに臨時委員会を召集し対応を協議。

◎運営委員会は、会員のみなさんの自由な参加の場です。なみさんの森づくりへの思いを伝える場として、活用してください。この頃、毎回運営委員以外の方の参加があって委員会が活性化されています。



今後の活動予定

☆定例会：毎月第1日曜日

1月6日 東山公園南部	3月2日 東山公園南部	5月4日 東山公園南部
2月3日 平和公園南部	4月6日 平和公園南部	6月1日 平和公園南部

集合場所、時間など詳細につきましては、その都度事前にメールなどで連絡致します。

下記ホームページでも案内しており、みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

☆子ども東山の森づくり隊

2月 9日 (土) 10:00~14:00	「めざせ!竹きり名人」	平和公園南部
5月10日 (土) 10:00~14:00	「冒険ハイキング」	東山公園南部



紹介

☆ホームページをご利用ください!!

会の活動を紹介するホームページが開設されています。

定例活動、子ども森づくり隊の案内、結果の報告、班活動や各種イベントの紹介、森の中で観察された花や鳥の紹介など内容豊富です。是非アクセスしてみてください。

URL : <http://www.higashiyama-mori.sakura.ne.jp/>



《 会員数：12月10日現在 個人153名 企業2社 》



人と自然のいのち輝く森

「東山の森づくり」に参加しませんか!!

年会費:2,000円 (企業:10,000円/1口以上)

入会申込・問合せ：[連絡幹事] 鬼頭 保

Tel/Fax:052-751-9510

e-mail: kito022445@mediacat.ne.jp

編集後記

地球温暖化、生物多様性の危機が喫緊の問題として注目され議論されている中で、私達の生活の場での緑地の減少に歯止めがかからないのはなぜでしょうか。

広報幹事 中西たかお Tel/Fax : 052-781-7530

e-mail: ntakao33@titan.ocn.ne.jp